

## 2-(4) 学修の成果に係る評価及び卒業認定に当たっての基準に関する情報

年間履修登録単位数の上限と進級、卒業(修了)要件(単位数)

	学部・ 学科 年次	芸術学部通信教育部							
		芸術学科		美術科		デザイン科		芸術教養学科	
		単位数	備考欄	単位数	備考欄	単位数	備考欄	単位数	備考欄
年間履修登録 単位数の上限	1～4年次	なし	—	なし	—	なし	—	なし	—
進級の要件 (単位数)	2年次	なし	—	なし	—	なし	—	なし	—
	3年次	なし	—	なし	—	なし	—	なし	—
	4年次	90単位 [3年次編入生は32単位以上]	専門教育科目 学部共通専門教育科目8単位以上 学科・コース専門教育科目T科目 12単位以上、S科目12単位以上 「論文研究I-1.2、II-1.2」必修*1	90単位 [3年次編入学生は32単位以上]	学部共通専門教育科目:8単位以上 コース専門演習T科目:8単位以上 コース専門演習S科目:12単位以上	80単位 [3年次編入学生は36単位以上 (建築デザインコースの3年 次編入学生は40単位以上)]	学部共通専門教育科目:8単位以上 (建築デザインコースは12単位 以上)*2 コース専門演習T科目:16単位以上 コース専門演習S科目:12単位以上	122単位	「卒業研究」履修までに、 総単位数:122単位以上 (専門教育科目58単位以上(うち Webスクーリング科目30単位以上) 合格済み)
卒業の要件 (単位数)	124単位 (S科目:30単位以上) [3年次編入生は62単位以上]	専門教育科目:60単位以上 学部共通専門教育科目12単位以上 学科・コース専門教育科目T科目 24単位以上、S科目12単位以上 「論文研究I-1.2、II-1.2」「卒業研究」必修*1	124単位 (S科目:30単位以上) [3年次編入生は62単位以上]	学部共通専門教育科目:20単位以上 [2年次編入学生は12単位以上] 「造形基礎演習1.2」必修 コース専門演習T科目:16単位以上 コース専門演習S科目:24単位以上	124単位 (S科目:30単位以上) [3年次編入生は62単位以上 (建築デザインコースの3年次 編入生は72単位以上)]	学部共通専門教育科目:12単位以上 (建築デザインコースは22単位 以上)*3 コース専門演習T科目:24単位以上 コース専門演習S科目:24単位以上	124単位 [3年次編入生は62単位以上]	専門教育科目(学部共通専門教育 科目、学科専門教育科目):60単位 以上 (うちWebスクーリング科目30単位 以上) 「卒業研究」必修	

\*1 コースごとに必修指定科目あり

\*2 建築デザインコースの新カリキュラム【平成21(2009)年度(1年次入学)、平成22(2010)年度(1年次入学、2年次編入学)】は、「住宅概論」「都市概論」「建築史1(近代)」「建築史2(西洋)または建築史3(日本)」「建築環境工学」「建築材料」「建築設備」「建築生産」「建築法規」「構造力学1・2」の12単位選択必修。旧カリキュラムは「デザイン論」「建築計画論2」「建築史」「構造力学1・2」「建築材料・構法」「環境の保全と計画」の12単位選択必修。

\*3 建築デザインコースの新カリキュラム【平成21(2009)年度(1年次入学)、平成22(2010)年度(1年次入学、2年次編入学)】は、「住宅概論」「都市概論」「建築史1(近代)」「建築史2(西洋)または建築史3(日本)」「建築環境工学」「建築材料」「建築設備」「建築生産」「建築法規」「構造力学1・2」が必修。旧カリキュラムは「デザイン論」「建築計画論2」「建築史」「構造力学1・2」「建築材料・構法」「環境の保全と計画」が必修。

## 2-(4) 学修の成果に係る評価及び卒業認定に当たっての基準に関する情報

年間履修登録単位数の上限と進級、卒業(修了)要件(単位数)

### ■大学院

	大学院・ 専攻 年次	芸術研究科(通信教育)	
		芸術環境専攻(修士課程)	
		単位数	備考欄
年間履修登録 単位数の上限	修士1～2年次	なし	—
進級の要件 (単位数)	2年次	14単位	専攻共通(特論):4単位、専攻共通(原論):2単位以上、演習:8単位
修了の要件 (単位数)		30単位	専攻共通(特論):4単位、専攻共通(原論):2単位以上、分野特論:8単位以上、演習:8単位、研究:8単位 論文、作品及び制作研究ノート、報告書の審査及び試験に合格すること。